

実施計画事業名		農村活性化事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		建設産業部 農政課		課長(主幹)名	相馬 義則			
総合計画体系	分野	5	産業振興					
	政策	1	自然を活用した産業の体質強化					
	施策	2	安全・安心な農畜産物の供給に努めます					
	関連施策							
現状と課題	都市部住民を中心に農村部に心の「うるおい」や「やすらぎ」、「自然や農業とのふれあい」を求める気運が高まっているが、農村部においては、人口の減少や高齢化が進行し地域の活動が低下している。							
目的	都市部との交流を通じて、都市部住民が農村で活動する機会を提供し地域の振興に繋げていく。							
施策展開の	<ul style="list-style-type: none"> ・農業や農畜産物の加工体験の機会の提供、農業に親しむイベントを開催する。 ・沼川みのり公園を運営し、市民農園や加工体験施設などを利用してもらう。 							
成果指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	沼川みのり公園利用者数		人	目標	8,000	8,000	8,000	
説明	1年間の延利用者数			実績	6,993	10,555		
活動指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度	
	市民農園利用区画数		区画	目標	120	120	120	
	説明	利用申込みがあり、貸付を行なった区画数		実績	110	102		
	管理棟利用回数		回	目標	140	140	140	
	説明	研修・会議等で管理棟が利用された回数		実績	100	65		
				目標	-	-	-	
	説明			実績				
				目標	-	-	-	
説明			実績					
事業費の実績		単位	22 年度 (決算)	23 年度 (評価年度決算見込)	24 年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	6,960	7,005	7,114		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	496	455	520		
	一般財源		千円	6,464	6,550	6,594		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.20	0.15	0.15		
人件費(B)		千円	1,358	1,043	1,043			
計(A+B)		千円	8,318	8,048	8,157			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<p>a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある)</p> <p><cの場合は、なぜかを分析して記入する> 年間で最も来場者の多いイベントである沼川酪農まつりが再開されたことなどから、目標を上回ることができた。</p>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<p>a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p><bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	<p>a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p><bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	<p>a a 問題なし b 改善の余地がある</p> <p><bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p>
総 合 評 価	A 概ね問題なし
	<p><A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 指定管理者と連携を図りながら、沼川みのり公園の調理実習室(管理施設)などを活用した農産物の加工体験の機会の充実を図り、市民や近隣町村等からの利用増を目指す。</p>

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし						
総 合 評 価	<p><2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおりとする。</p>						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--